

教 師 ノ ー ト

週課	第三年 第七課 第二週
単元	伝道メッセージ
テーマ	イエス・キリスト
タイトル	イエスさまってだれ
テキスト	マタイ16:16、ルカ19:10
参照箇所	マタイ1:18-25、ルカ1:26-38
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	マタイ16:16
AG 日曜学校教案参照箇所	

□導入

1. こんにちは、みなさんようこそ教会へ来てくれました！「初めて教会に来たお友だちはどれだけいるかな？ちょっと手を挙げてみて～」。はい、はい。ありがとう。教会では、聖書を開いて神さまのこと、イエスさまのお話しをします。聖書は神さまからの愛のお手紙がいっぱいつまっている本です。どの時代でも世界中で一番読まれている(売られている)本なんだって。すごいよね。この聖書にはイエスさまのことが書かれています。イエスさまって聞いたことありますか？イエスさまってどんなお方なのだろう？いつ、どこで生まれて、何をして、今はどうしているんだろう？

2. 世界の歴史上の人物で一番その名前を知られている人は誰でしょう？？多分ね、それはイエスさまだと思います。イエスさまの名前は、「イエス」と言います。英語では、「ジーザス」って呼ぶんだって。不思議だね。よく「イエス・キリスト」って呼ばれているんだけど、「キリスト」は名字ではないんだよ。「救い主」ってという意味があります。「救い主」って何だろう？どうしてイエスさまが一番有名なんだろう？イエスさまってどんなお方なのだろう？いつ、どこで生まれて、何をして、今はどうしているんだろう？イエスさまのお話しは、教会以外ではなかなか聞けません。テレビや学校でもそんなに教えてくれません。でも、とっても大切な話しなので、最後まで静かにじっくりと聞いて下さいね。

□ポイント1 イエスさまは、人の子です(ルカ19:10)

今年は西暦何年か知っていますか？そうそう20××年です。実はこの数字は、イエスさまが生まれた年を1年(元年)にして数えられているんです！だからイエスさまは、今から20××年前に、今のイスラエルっていう国があるところで生まれたんです。お父さんの名前をヨセフと言って、大工さんをしていました。お母さんの名前を知っているかな？そう、マリヤさんです。イエスさまはヨセフさんとマリヤさんの家庭に生まれました。いつも紙芝居とか絵を見せているから、昔話と思っていたお友だちがいましたが、イエスさまは神話とか空想話しの人ではなく、確かに私たちと同じように人の子として生まれたんです。

📄 紙芝居やイラストを見ている子どもたちは、時々イエスさまを神話の人物のように思っています。少しリアルなピクチャーロールや web などからベツレヘムの街などを印刷して見せても良いでしょう。

□ポイント2 イエスさまは、神の子です(マタイ16:16)

イエスさまは私たちと同じように人の子として生まれたんだけど、実は神の子なのです。イエスさまのお父さんは大工のヨセフさんだと言いましたが、本当のお父さんは天におられる父なる神さまです。ヨセフさんに「神の子である救い主があなたたちの間に生まれるからよろしくたのむよ」と言われたのです。イエスさまは神の霊である聖霊の不思議な力によってマリヤさんのお腹の中にみごもりました。イエスさまは神の子だから、罪をおかすことなく、また父なる神さまの愛でみんなを愛し、病気で苦しんでいる人々をいやし、神さまの素晴らしさを現わすたくさんのお奇跡をおこないました。例えばねえ、目の見えな

い人を見えるようにしたり、今まで一度も歩けなかった人を歩けるようにしました。また舟に乗っている時に大きな嵐になり、イエスさまは風や波をしずめたこともあります。そんなイエスさまを近くで見ていたお弟子さんたちは、「あなたは神の子です」と言いました。神さまは私たちを愛しているから、どこか遠くにおいて「ほら、がんばれ。そんなことをしてはいけない」と言われているのではなく、神さまのひとり子であるイエスさまを私たちのために送って下さり、神さまの素晴らしさを見せて神さまのことを教えて下さいました。

□ポイント3 イエスさまは、救い主(キリスト)です (マタイ16:16)

ではどうして、イエスさまは神の子であるにもかかわらず、人の子としてこの世に誕生されたのでしょうか。それは私たちを罪やのろいから救うために、十字架にかかって私たちの代わりに死ぬためです。人々が神さまの愛を知らないで自分勝手に生きていることを罪と言います。神さまを信じないで、神さまの愛が分からないで、神さまから離れて生きていると、心に悪い思いがわいてきたり、本当は友だちと仲良くしたいのに意地悪をしたり、ウソをついたりして罪を犯し続けながら生きることとなります。イエスさまは、私たちが神さまから離れたまま生きることがないように、罪に対して苦しみ続けることがないように、父なる神さまの愛を語り、「みんなは父なる神さまに愛されているよ」と教えてくれました。

そして私たちの犯してきた罪のために、私たちの身代わりとなって十字架にかかれ罰を受けて下さいました。十字架にかかれる前は、ムチを打たれました。つばをかけられ、人々からひどい言葉をあびせられました。それでもイエスさまは、私たちの罪を背負い、「父なる神さま、彼らをゆるしてください」と私たちのために十字架の上で祈られました。イエスさまは神さまだから苦しくなかったのでしょうか？決してそんなことはありません。イエスさまは苦しみに耐えながら私たちの身代わりに罰を受けてくれたのです。それは、私たちが罪から救われるためです。このイエスさまを信じる時、私たちは救われます。「神さま、私の罪をごめんなさい」と悔い改めるとき、どんな罪やその罰からもイエスさまは救ってくれます。

イエスさまは十字架にかかった後、3日目によみがえられました。私たち人間がどうすることもできなかった死と罪に打ち勝ったのです。この勝利のイエスさまを信じる時に、イエスさまは私たちと一緒にいて下さり、困ったこと、悲しいこと、しんどいことがあったら、私たちを励まし、慰め、助けてくれます。イエスさまは救い主だからそれができるのです。

□結論 神の子であるイエスさまを救い主として信じる時、私たちは救われます。

□適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

1. イエスさまは神の子です。困ったこと、悲しいこと、つらいこと、どうしようもないことから、私たちを助けて下さいます。「イエスさま、あなたが本当に神さまなら僕を助けてください」とイエスさまにお願いしたい方はいますか？先生も一緒にお祈りします。手を挙げて教えて下さい。
2. イエスさまは救い主です。今も生きています。僕たちの悪い心をきれいにして救ってくれます。今まで内緒にしてきた罪がありますか？ウソや悪口、意地悪、わがまま、ぬすみ…そのような罪から救うためにイエスさまは来て下さいました。十字架のイエスさまを信じる時、罪やのろいから救われます。「イエスさま、ぼくの、わたしの悪い心をゆるしてください。きれいにしてください」と一緒にお祈りしましょう。先生が先に祈るので、後についてきてみんなも祈って下さい。